

## アンケート調査の結果報告

広報委員会

「大地」は平成元年の創刊以来9年となり、本誌で26号となります。

本誌が今まで以上に多くの会員に愛読いただくためには、より読者の立場に立った充実した内容に編集していく必要があると考えております。

当委員会では、「大地」の発行について、今後の資料とするため

### 「大地」の編集に関するアンケート調査

を、昨年12月に実施しました。

会員30社にアンケートをお願いして、回収率は90%でした。また、1社に対して、技術系社員・事務または営業系社員・女性社員・経営者または管理者の4名を対象としたところ、120名中78%の回答をいただきました。

アンケート調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

このアンケート結果より、会員の皆様が、「大地」に対して関心をいかにお持ちかうかがえるとともに、今後の「大地」の方向について、広報委員一同おおいに参考にしていこうと考えています。

アンケートおよびアンケートの集計結果は、以下の通りです。

### 「大地」の編集に関するアンケート調査

アンケートにお答えいただく方は、回答用紙にご記入ください。

**質問1** 「大地」を読んだことの有無についてお聞きします。

(読んだことがない方でも、3.以降のアンケートには、お手数ですが「大地」を一読の上ご意見くださいますようお願いいたします。)

- a. 「大地」に一度でも目をとおしたことがありますか。
  - イ. ある
  - ロ. ない
- b. 目をとおしたことがない方についてお答えください。
  - イ. 「大地」を知らなかった。
  - ロ. 知っていても読まなかった。

c. 知っているも読まなかった方について、その理由をお聞かせください。

イ. 興味がない。

ロ. 興味があっても、忙しくあるいは手元になく、なかなか目を通すことができない。

ハ. 内容がつまらない。

ニ. その他

**質問2** 「大地」を読んだことのある方についてお答えください。

a. どの程度の読み方ですか。

イ. 全部読む

ロ. 特定の記事のみ

ハ. めくり読み

b. 「特定の記事のみ」と答えた方にお聞きします。「特定の記事」とはどのような記事ですか。(複数個○をつけて結構です)

イ. 特別寄稿

ロ. 技術報告

ハ. 講座

ニ. 寄稿

ホ. 訪問シリーズ

ヘ. 地学の教室シリーズ

ト. 協会だより

**質問3** 表紙についてお聞きします。

a. これまでの表紙は、協会のイメージにありますか。

イ. あっている

ロ. あっていない

ハ. どちらともいえない

b. これまでの表紙から、どのような印象を受けますか。

イ. 新鮮

ホ. 平易な感じ

ロ. 古くさい

ヘ. 堅い感じ

ハ. 明るい

ト. その他

ニ. 暗い

- c. これからの表紙について、今後表紙を変えたほうがよいと思いますか。
- イ. 変えたほうがよい
  - ロ. このままでよい
  - ハ. どちらともいえない
- d. 「表紙を変えたほうがよい」と答えた方にお聞きします。どのような表紙がよいとお考えでしょうか。

(例：大地編集委員会で「自由テーマ」「テーマ別」の誌上フォトおよびデザインコンテストを開催し、優秀作品を表紙として利用する。)

**質問4** 技術関連の内容についてお聞きします。

- a. これまでの「大地では、「技術報告」「講座」を掲載してきましたが、これらを読んでおられますか。
- イ. よく読む
  - ロ. 必要なものだけを読む
  - ハ. 読んだことがない
- b. 「技術関連の記事」を読まれる方にお聞きします。記事の量についてどう思われますか。
- イ. 多い
  - ロ. 普通
  - ハ. 少ない
- c. 「技術情報」として役立つと思われますか。
- イ. 役立つ
  - ロ. 役立たない
  - ハ. どちらともいえない
- d. 「技術報告」の内容について、どう思われますか。
- イ. 難しい
  - ロ. 普通
  - ハ. 易しい
- e. 「講座」の内容について、どう思われますか。
- イ. 難しい
  - ロ. 普通
  - ハ. 易しい

- f. 今後、読んでみたいと思う「技術的なテーマ」があればお聞かせください。  
(複数個○をつけて結構です)。

- |          |               |
|----------|---------------|
| イ. 河川砂防  | ト. 農業・森林土木・造園 |
| ロ. 港湾・空港 | チ. トンネル       |
| ハ. 電力土木  | リ. 施工計画・施工    |
| ニ. 道路・橋梁 | ヌ. 廃棄物        |
| ホ. 鉄道    | ル. 一般地質       |
| ヘ. 上下水道  | ヲ. その他        |

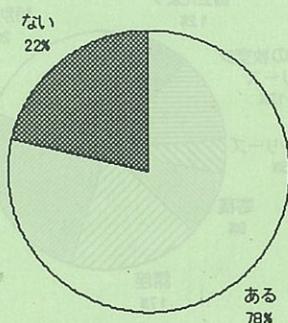
**質問5** 寄稿・シリーズ・人物往来についてお聞きします。

- a. 読者の声や紹介として「寄稿」「シリーズ」「人物往来」を掲載しておりましたが、これらについて興味が持てますか。
- イ. 持てる  
ロ. 持てない  
ハ. どちらともいえない。
- b. 業界や職場の雰囲気伝わっていると思いますか。
- イ. 思う  
ロ. 思わない  
ハ. どちらともいえない
- c. 今後、どのような内容がよいとお考えでしょうか、ご意見ください。  
(例：我が社の独身社員紹介、新入社員の抱負紹介、宿泊先紹介、各地の名物・食べ物紹介、奥様の自慢料理紹介など)

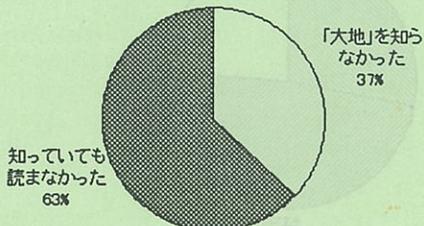
アンケートにご協力いただきまして大変ありがとうございました。みなさまのご意見を参考に、多くの方々に読まれる「大地」に発展させるよう努力します。

1. 「大地」を読んだことの有無についてお聞きします。

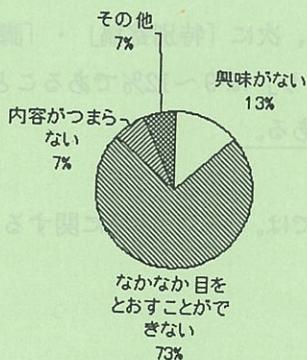
1-a. 「大地」に一度でも目をとおしたことがありますか



1-b. 目をとおしたことがない方についてお答えください



1-c. 知っているも読まなかった方について、その理由をお聞かせください



「大地」に一度でも目をとおしたことがある方は78%、「目をとおしたことがない方」を大きく上回っている。

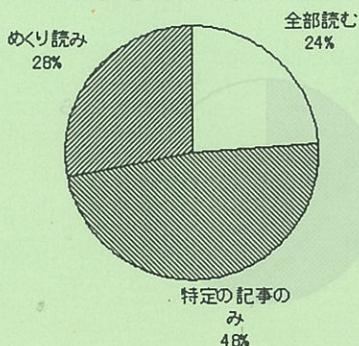
「目をとおしたことがない方(22%)」について、「知っているも読まなかった理由」では、73%の方が興味があっても忙しくあるいは手元になかなか目をとおすことができないようである。

【編集員】

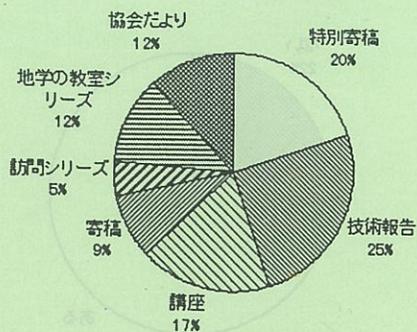
もっと気軽に読んでいただくように、「寄稿」を多くする傾向がよいと思われる。

2. 「大地」を読んだことのある方についてお答えください。

2-a. どの程度の読み方ですか



2-b. 特定の記事とはどのような記事ですか



「大地を全部読む」方は24%、「特定の記事のみ読む」方は48%であり、大地への関心度の高さが反映されている。

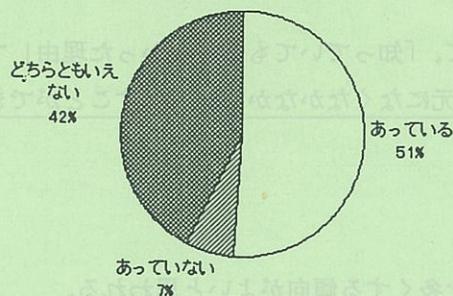
特定の記事のうち、「技術報告」が25%と一番多く、次に「特別寄稿」・「講座」へと続く。「寄稿」・「地学の教室シリーズ」・「協会だより」は9～12%であることから、「大地」は多岐の分野にわたり読まれている傾向にある。

【編集員】

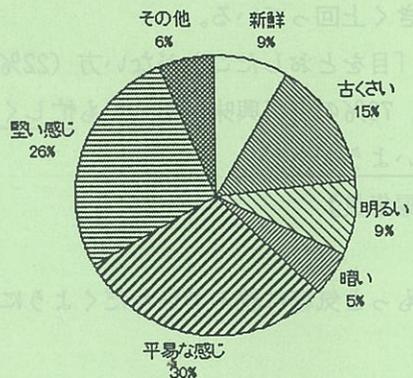
技術報告・講座は、このままのスタイルでよいのでは。但し、環境に関するテーマを多くしてゆく必要がある。

3. 表紙についてお聞きします。

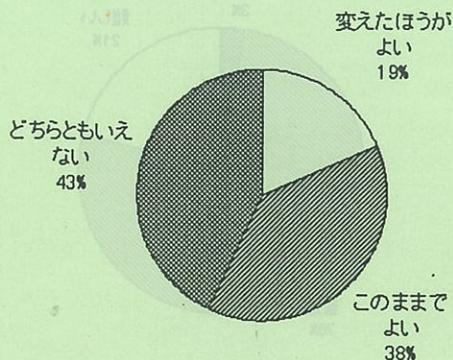
3-a. これまでの表紙は、協会のイメージにあっていますか



3-b. これまでの表紙から、どのような印象を受けますか



3-c. これからの表紙について、今後表紙を変えたほうがよいと思いますか



「これまでの表紙は協会のイメージにあってる」と答えた方は51%、「どちらともいえない方」を「あっていない」方と判断すると49%となり、賛否両論に分かれる。

これからの表紙について、「変えたほうがよい」と答えた方は19%、「このままでよい」と答えた方は38%とこのままでよいの方が多い。しかし、表紙のイメージと同様「どちらともいえない」方が43%であり、「表紙を変える」については賛否両論に分かれる。

【編集員】

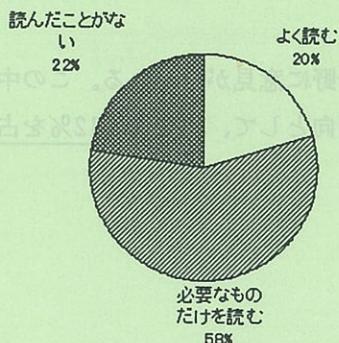
表紙を変えたほうがよいのではないだろうか。

写真・デザインも寄稿同様、会員皆様からの投稿を是非呼びかける（写真については、表紙の声として撮影時のエピソードを加えてもらえば読者のイメージがより広がる）。

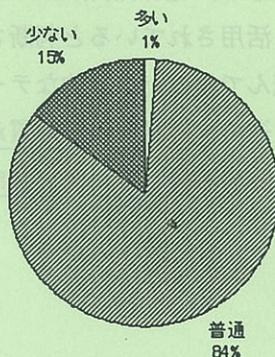
デザインは、水と緑を基調として、さわやかなデザインを表紙に採用したい。

4. 技術関連の内容についてお聞きします。

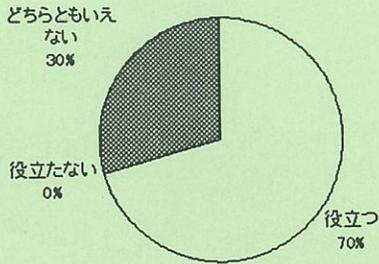
4-a. これまでの「大地」では、「技術報告」「講座」を掲載してきましたが、これらを読んでおられますか



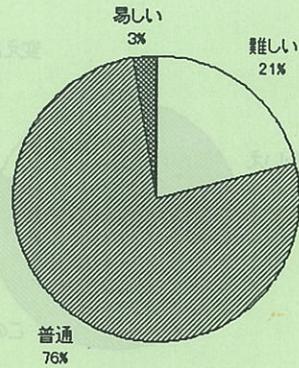
4-b. 技術関連の記事を読まれる方にお聞きします。記事の量についてどう思われますか



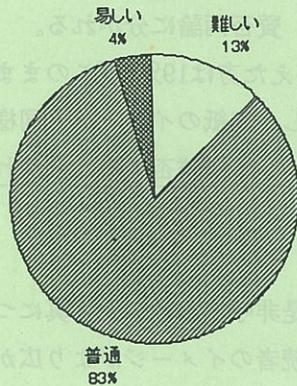
4-c. 技術情報として役立つと思われませんか



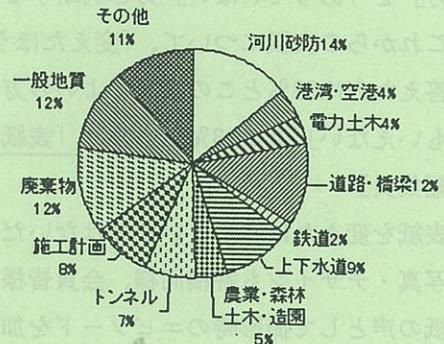
4-d. 「技術報告」の内容についてどう思われますか



4-e. 「講座」の内容について、どう思われますか



4-f. 今後、読んでみたいと思う技術的なテーマがあればお聞かせください

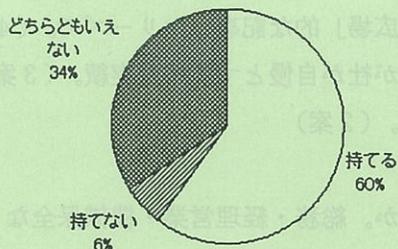


技術関連の「技術報告・講座をよく読む」、「必要なものだけを読む」方は78%で、多くの方に読まれている。「技術関連の量および記事の内容」については、普通と答えた方が76~84%である。「技術情報として役立つ」と答えた方は読まれる方の70%と技術情報誌としても、活用されていると判断される。

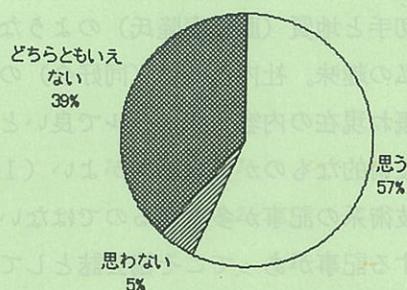
「今後読んでみたい技術的なテーマ」は、多岐の分野に意見が分かれる。この中でも、河川砂防、道路・橋梁、一般地質が目立つ。今後の傾向として、廃棄物が12%を占めており、環境に関する関心度が高い傾向にある。

## 5. 寄稿・シリーズ・人物往来について

5-a. 「寄稿」「シリーズ」「人物往来」について興味を持てますか



5-b. 業界や職場の雰囲気が伝わっていると思いますか



「寄稿・シリーズ・人物往来」への興味度は、60%の方が興味を持っている。

「業界や職場の雰囲気が伝わっている」と思う方は57%、「思わない」と答えられた方の5%を大きく上回っている。「どちらともいえない」を「思わない」と判断すると、業界や職場の雰囲気の伝達については、賛否両論に分かれる。

### 【編集員】

「宿泊先紹介」「名物・食べ物紹介」「新入社員からのメッセージ」「苦勞したから学んだことの紹介」「総務・営業からの声」「転勤族の赴任地からの感想」など寄稿・シリーズとして身近な話題が提案されている。「大地」は会員の手でつくるをモットーに、会員皆様からの投稿を呼びかける。

## 6. 記述提案項目の集約

「どのような表紙に変えたほうがよいか」は19の提案をいただき、要約傾向としては次のとおり。

- ・誌上フォトおよびデザインコンテストなど、広く一般より募集する。(7案)
- ・白地に「水」と「緑」でさわやかな印象にと思います。(4案)
- ・調査業とか「大地」と言うことにこだわらずに考えたほうがよいと思う。(4案)
- ・湖を中心とした地形がテーマのようだが、地表上に見られる構造や、現像の写真でも良い。
- ・「大地」が古くさい感じがする。横文字に変えたほうがよいのでは。(2案)

「今後、どのような内容がよいか」は34の提案をいただき、要約傾向としては次のとおり。

- ・宿泊先紹介。各地の名物・食べ物・おいしい食べ物屋などの紹介。(13案)
- ・社員の苦勞したからこそ学んだことの紹介。(5案)

- ・今回の「地学の教室シリーズ」は就職関連の内容で共感を覚えるというかとても身近に感じたものだった。今後、新入社員関連の記事があれば参考にしたいと思う。(4案)
- ・切手と地質(藤島泰隆氏)のような「趣味の広場」的な記事とシリーズで。(4案)
- ・私の趣味。社内クラブ(同好会)の紹介。我が社が自慢とする業務実績。(3案)
- ・概ね現在の内容・スタイルで良いと思います。(2案)
- ・技術的なものが多いほうがよい(1案)
- ・技術系の記事が多すぎるのではないのでしょうか。総務・経理営業・機械保全などに関する記事があってこそ協会誌としてのバランスのとれた雑誌といえるのではないのでしょうか。(1案)
- ・転勤族の家族の赴任地での感想など、シリーズで掲載すると面白い。(1案)

#### [広報委員会としての方針]

「表紙」「寄稿」について、会員皆様からの投稿を募集します。

##### 1. 表紙

「大地27号」(平成10年7月刊行)より、会員皆様からの投稿による写真およびデザイン(テーマは自由)を掲載する。採用の方には、1万円の図書券を贈る。

2年間は写真採用を中心とし、その後デザインを掲載する。

##### 2. 寄稿

下記の項目について投稿いただき、採用の方には5千円の図書券を贈る。

- ① 宿泊先紹介
- ② 名物・食べ物紹介
- ③ 新入社員からのメッセージ
- ④ 苦勞したから学んだことの紹介
- ⑤ 総務・営業からの声
- ⑥ 転勤族の赴任地からの感想

## お知らせ



### 研修委員長新任のあいさつ

基礎地盤コンサルタンツ(株) 大 竹 勉

平成6年8月に弊社九州支社（福岡市在）から、杜の都仙台にある東北支社に転勤して参りました。あれからもう3年半が経ってしまいました。私にとりましては、年月の流れと云うものがものすごく速く感じられてなりません。

平成6年12月暮に起こった「三陸はるか沖地震」と翌年1月17日の「兵庫県南部地震」、そしてこれを受けての耐震基準の改訂。一方では入札制度の改正やISOの始動、建設CALS体制への移行等この業界の質的な転換への動き。そして、公共事業の見直し縮減施策に根ざす市場環境の波乱などなど、この間の出来事は数え挙げれば枚挙にいとまがありません。

この様に、業界をとり囲む諸環境の変貌の中で、研修委員長を仰せ付かった非力な私としては“一体何をせいと云うんじゃい!!”と吼えたくなる気持ちであります。幸い、東北に來た当初から、この研修委員会に参加させていただき、仲間の委員方々と一緒に出来ることを地道にやってきたつもりであります。

恒例になりましたが年2回開催している「若手ゼミ」は、会員の皆様のご理解を得て盛況な内に会を重ねております。これは研修の一面のみを追求するのではなく、当会が将来この業界を背負って行かれる若手技術者の方たちの交流の場を提供するものとして定着しつつある様な印象を持っております。また、ベテランのオペレータの方々の参加も増えつつあり、当会に寄せられる期待の大きさを感じているしだいでもあります。また、平成7年度から始めました「RCCM受験講習会」では、その成果は全国平均よりも高い合格率を出しており、まさに委員会冥利に尽きると云ったところであります。

今後は、当協会が先頃掲げました「災害時の応急対応行動計画」の実践に対して、当委員会は講習会の企画、連絡体制の整備、その他対応行動に関する理解を深めるための諸事を進めてゆく任を仰せ付かっております。

この様に、当委員会は活動的な存在として期待されており、その荷の重さを十分感じるところでありますが、研修委員諸氏と力を合わせながら進めていく所存であります。今後とも、会員の皆様方にはさらなる御理解とご指導賜りますことを付言させていただいて、私の新任挨拶とさせていただきます。

## 新 会 員 会 社 の 紹 介

事 務 局

新しく会員になられた会社がありますのでご紹介いたします。

総会員数が101社になりました。

### 《 新 会 員 》

会 社 名	尾 去 沢 コ ン サ ル タ ン ト ㈱
代 表 者 名	代表取締役 増 本 恵 亮
所 在 地	〒010-0953 秋田市山王中園町5-24
T E L	( 0188 ) 64 - 6558
F A X	( 0188 ) 65 - 6997
入 会 年 月 日	平成9年11月1日